

ボブ ベッカー  
**Bob Becker**

● Profile ●

ボブ・ベッカー

アメリカのイーストマン音楽学校で打楽器と作曲を、ウエズリアン大学院で民俗音楽を4年間学び、ガーナのドラミング、ジャワのガムラン、インドのタブラを現地にて学ぶ。

1971年にカナダのトロントに拠点を持つ世界的な打楽器アンサンブル「NEXUS（ネクサス）」を創立。世界中の室内楽や主要オーケストラのゲストとして招かれ、数多くのCDを録音している。国際打楽器芸術協会（PAS）より打楽器界の最高の栄誉であるホール・オブ・フェーム賞を受賞。

また、作曲家、武満徹と親交が厚く、武満がネクサスのために書いた打楽器コンチェルトは、1991年に小澤征爾指揮のボストン交響楽団と共にカーネギーホールにて初演される。これまで、日本での公演回数も多く、ファンも多い。来年で結成40周年を迎える。



彼自身の活動は、パブロ・カザルス、小澤征爾、ズビンメータ、エッセンバッハ等一流指揮者のオーケストラで打楽器を担当。また、ドラマー、ポール・ウィンターのツアーに毎年参加するなど活躍の場は幅広い。その他に、スティーブ・ライヒアンサンブルの主要メンバーとして、世界各地で演奏し、録音を手がける。

とりわけ、1920年代の演奏スタイル、即興を用いた木琴の演奏は、世界中でワークショップを開くほど、歴史的価値が高いと評価されている。また、数多くの打楽器アンサンブル、ラグタイム音楽の作曲・編曲を出版しており、世界中の打楽器奏者によって演奏されている。

マレット社契約アーティスト。世界で唯一のラグタイム用4オクターブの木琴、ボブベッカーソリストモデルをリリース。同時にシグネチャー木琴マレットもリリース。シンバル会社セイビアンの子会社アーティスト。2008年には、スネアドラムのための数学式を基にした「ルーディメンタル・アリスメティック」の本をKPP出版から出版。

【ボブ・ベッカー氏によるシンバルレクチャー】開催

2010年9月20日(月・祝) 午後1時30分 北斗市総合文化センター「かなでーる」小ホール  
一般¥2000 高校生以下¥1000 \* お申し込み・お問い合わせは 事務局まで

● 出演者 ●

アンサンブル木精 . . . . . 1996年、「木の精神(こころ)を真摯に伝えたい」をコンセプトに結成。

マリンバの発展や地域文化の振興を目的として、地域での公演をはじめとして、全国選抜マリンバ大会やマリンバフェスティバルなどに出演し、多彩に活動。2002年及び2003年に世界的マリンバ奏者 安倍圭子氏と共演。ボブ・ベッカー氏とは、2007年に次ぎ2度目の共演となる。



市川 須磨子



鏡谷 友里菜



池田 静香



大友 昌壽



木村 百合香



佐々木 雅代



滝本 千晶



寺澤 春佳



宮前 由一